

青南幼稚園だより

10月号

平成26年 9月30日 園長 西澤 尚子

表現する

今年、9月には、夏の暑さが去り、朝夕の涼しさに秋の訪れを感じます。

9月は教育実習生が来たり、青山中学校から職場体験の中学生が各学級に入ったりと、園児がいつもとは違う人と何日か継続して関わる機会がありました。実習生や中学生に、初めは様子を見ていた子どもたちも、徐々に親しみをもって関わる様子が見られました。自分を温かいまなざしで見てくれると感じ取り、子どもたちも安心して話しかけたり、遊びに誘ったりしていたのだと思います。

職場体験の終わりに、中学生に感想を聞いたところ「子どもたちに絵本を読んだとき、緊張していたので『間違えるかもしれ知れないけれど…』と言ったら、『間違っても大丈夫だよ』と言ってくれて少し落ち着きました」と話してくれました。そして「幼児は、遊んでいる様子は子どもだけけど、そういう気持ちがあるのですね」との感想も話していました。子どもたちの一言が、中学生の心に届いたことを嬉しく聴きました。中学生に対して素直に「大丈夫だよ」と伝える幼児、そのことを印象に残ったこととして伝えてくれた中学生。どちらも相手の気持ちに気づき、受け止め、大事なことだと感じたからこそ言葉にして伝えたのだと思います。

先日、電車の中で「込み合っていますので、お降りの際は押し合わず、声を掛けてお降りください。トラブルの原因となります」との放送が流れました。大人でも、周りの状況を考え上手に伝えることは難しい、ということです。

だからこそ、幼児期から表現することに慣れていってほしいと願っています。表現し、相手の反応を感じることで表現の仕方は磨かれていくと思います。幼稚園ではまず、のびのびと表現できる環境をつくりたいと思います。

10月は親子運動会があります。大人も子どもも、のびのびと全身で表現してみましょ。きっと心地よく爽快な気持ち、次の表現意欲につながると思います。地域、保護者の皆様には、ご理解、ご協力をいただきまして、子どもたちを応援していただきますようお願いいたします。



ふれあいアート・5歳児



ひよこ組の前で歌・4歳児



電車ごっこ・3歳児



青南小学校第二運動場で

10月指導のねらい

- 3歳児 ○自分の思いを表し、先生や友達と遊ぶ楽しさを味わう。
○身の回りのことを自分から進んでしようとする。
○先生や友達と一緒に、のびのびと体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- 4歳児 ○自分が思ったことや考えたことを言葉や動きに表したり、友達と関わったりして、好きな遊びを楽しむ。
○学級のみなどと一緒に思い切り体を動かしたり、いろいろな動きをしたりする楽しさを味わう。
- 5歳児 ○いろいろな運動遊びに取り組み、自分の目当てに向けて力を出したり、友達と励まし合ったり、競い合ったりすることを楽しむ。
○運動会に向けてみんなで役割分担して取り組み、やり遂げた満足感を味わう。
○収穫する喜びや、遊びや製作活動に取り入れる楽しさを感じ、秋の自然に親しむ。